

# 広島高裁決定受け

# 「知事は速やかに 廃炉を要請すべき」

## 県民世論受け止め

# 伊方原発2、3号機を 廃炉に

# 伊方原発2、3号機を 廃炉に

四国電力伊方原発3号機の運転差し止めを求めた仮処分申請の即時抗告審で、広島高等裁判所が12月13日、運転差し止めを命じる決定をだしました。

田中県議は、司法判断がしめされた翌日の14日、中村時広愛媛県知事と四国電力・佐伯勇人社長にたいし

「司法判断を重く受け止め、再稼働反対が多数の県民世論や、核のゴミ」の処理についても展望がないなか、3号機の再稼働はせず、運転から35年を経過した2号機も含め、廃炉の決断を」と申し入れました。

また、田中県議は11月14日、伊方原発事故が発生し



放射線防護施設になった廃校後の小学校=伊方町申地区



避難訓練のようす



四国電力に申し入れる田中県議=2017年12月14日



## 伊方原発2、3号機の廃炉求める県民の請願(12月) 自民、維新、公明、民進などが不採択に

# 国が事業所(飲食店など)と団体に通知 学生のブラックバイト根絶へ

理事者 国と連携し、引き続き対応する

田中県議は経済企業委員会で、繰り返し求めてきた学生のブラックバイト対策について、これまでの県独自の取り組みや国との連携の状況を質疑。

県独自では労働委員会が定時制高校での講義、松山大学や愛媛大学での相談会や出前講座の取り組みがし

田中県議は「年末・年始年度末は学生アルバイトがふえる時期でもあり、ブラックバイトといわれるような実態がうまれやすい。法を順守させるよう引き続き対応を強めてほしい」と求めました。

# 特別支援学校の すべての教室に クーラー設置へ前進

学校関係者や保護者、労働組合はじめ多くの方が、要望してきた全教室へのクーラー設置を「検討する」と自民党議員の質問に県教育長が答弁。大きく前進する契機になります。



田中県議も、特別支援学校を視察(写真)した時にも指摘し、予算要望なども求めてきました。

議案に対する各会派の態度	共産	自民	自志	維新	公明	社民	民進	ネット	無
12月補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2016年度決算	●	○	○	○	○	○	○	●	○
田中県議は、山鳥坂ダム建設、原発再稼働関連、四国新幹線推進のための執行などに反対									
県職員の退職金を引き下げる条例	●	○	○	○	○	●	○	●	○
コメの「所得補償制度」の復活を求める請願	○	●	●	●	●	○	●	○	●

○=賛成、採択を求める  
●=反対、不採択

# 県立病院医師の 長時間労働是正を

全国の公立病院医師の長時間労働が問題になり、過労死や過労自殺も起きています。

報道によると、最長では愛媛県立中央病院の医師が昨年1年間で1777時間の時間外勤務に。田中県議は、経済企業委員会で「県民の命を守る役割があるため、単純に長時間労働なくせとはいかない。根本的解決には医師確保が必要ですが、しかし、医師の健康も考えればこのままではいけない。病院内でも具

体的な取り組みを」と指摘。公営企業管理者側も、問題意識をもち、改善への努力をはかっているが、今後とも検討していくことを約束しました。

# 自民党と自民志士の会が 別々に6人ずつ 1日違いで 隣国に「海外視察」

1月8日から一週間、自民党がニュージーランドに6人。1月7日から一週間、自民党志士の会がオーストラリアに6人。それぞれ海外視察にいくことに、田中県議と無所属議員が反対したのみで、議会が承認。

一日違いでの出発、しかも場所まで隣国…。自民党派が分裂したことを契機にした県議会の各会派代表者会議で、年間の海外視察回数の上限(これまで年2回以内)もなくしています。

# 愛媛労働局から事業所への要請

要請内容(抜粋)

- 1 アルバイトを雇うとき、書面による労働条件の明示を行うこと。
- 2 学業とアルバイトが両立できるような勤務時間のシフトを適切に設定すること。



▲労働委員会による大学での講義